

厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）
分担研究報告書

認知症疾患医療センターにおける診断後支援の実態に関する研究

研究分担者

枝広あや子 東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長
杉山美香 東京都健康長寿医療センター研究所 研究員
岡村毅 東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長

研究要旨

本研究は、日本全国の認知症疾患医療センター（MCDs）における診断後支援の実施状況を明らかにすることを目的とし、全 MCDs を対象とした質問紙調査を実施した。

基本的な支援の実施状況、診断時の対応、地域連携に関する三つのテーマで調査表を作成した。令和 5 年 10 月現在において指定されている MCDs 505 施設に発送し、227 施設（回収率 45%）から回答を得た。

結果として、医療・介護関連の支援は広く実施されていた一方で、権利擁護や就労・経済的支援については実施率が低く、医療機関が担うべき範囲の見直しが求められることが示唆された。また、センターが重視する社会的使命（ミッション）として「共生」を掲げているか否かが、診断後支援の実施状況と有意に関連していた。

今後、医療機関のリソース配分の再検討や、診断後支援を社会全体で担う仕組みの構築が求められる。

D. 研究目的

本研究の目的は、日本全国の認知症疾患医療センター（Medical Center for Dementia: MCD）における診断後支援の現状を把握するとともに、各センターが重視する社会的使命（ミッション）と支援実施状況との関連性を明らかにすることである。特に、医療・介護にとどまらず、地域との連携や権利擁護、経済的支援といった多様な支援が実際にどのように提供されているのか、またそれがセンターの重視するミッションとどのように結びついているかを明らかにし、今後の支援体制の整備に資する知見を得ることを目的とした。

E. 研究方法

本研究は、全国の認知症疾患医療センターを対象とした郵送による質問紙調査である。

対象は令和 5 年 10 月現在で指定されている全国 505 カ所の MCDs とした。調査項目は、過去の厚生労働省による調査研究を参考に、以下の三つのテーマに分類して構成された。

(1) 基本的な診断後支援の提供状況、(2) 診断時の対応、(3) 地域連携

各項目については、提供の頻度や内容について選択肢形式で回答を求めた。また、各センターの重視する社会的使命（認知症予防・診断・共生・研究など）について選択してもらい、それと実施内容との関連について検討を行った。

倫理面への配慮：本研究は、東京都健康長寿医

療センター研究所の倫理委員会において「個人情報を取り扱わない病院機能に関する調査であるため倫理審査対象外」と判断され、実施可能との判断を得ている。

F. 研究結果

227 施設から回答を得た（回収率 45%）。診断後支援のうち、医療・介護に関する支援提供率は高かった一方で、「就労支援」「経済的支援」「権利擁護」に関する支援の提供率は低い傾向がみられた。また、診断時に患者本人への告知や情緒的支援は行われていたが、予後については家族には伝えられている一方で、本人への説明は少なかった。地域連携においては、「認知症カフェ」や「ピアサポートミーティング」「家族会の開催」など、医療機関が主体的に運営する活動は限られていた。

さらに、「共生」をミッションとするセンター群は、他のセンター群と比較して、診断後支援全般にわたり実施率が有意に高い傾向が認められた。

G. 考察

本研究は、全国の MCDs における診断後支援の実施状況を網羅的に把握した、国内初の大規模調査である。結果から、医療・介護関連の支援については比較的広く実施されていたが、権利擁護や経済的支援、就労支援といった生活支援に関する取り組みは不十分であった。これは、認知症疾患医療センター運営事業実施要項にあるように、個々の MCD の地域における役割は、地域のほかの医療介護資源等や、インフラストラクチャー整備状況などの地域の実情に合わせた役割としていることが影響した可能性がある。また医療機関の診断後支援機能の明確な指針がないことが背景にある可能性がある。

また、診断時における支援では、情緒的サポートは一定程度行われていたものの、予後に関する情報提供については本人には十分に伝えられていない現状が明らかとなった。本人の意思決定支援を重視する観点からは、状況に応じた支援のあり

方を構築していく必要がある。地域連携の点では、認知症カフェやピアサポートの会、家族会の運営は医療機関にとって負担であると同時に、社会的使命が共生であるセンターにとっては地域へのアプローチの重要な柱になっている可能性があった。

本研究で注目すべき点は、センターが自らのミッションとして「共生」を掲げているか否かが、診断後支援の実施状況と有意に関連していたことである。これは、組織としての理念や自己認識が、具体的な支援のあり方に影響を与えていることを示唆しており、今後の制度設計や人材育成においても考慮すべき重要な視点である。

E. 結論と今後の課題

診断後支援は、認知症とともに生きる人々が希望と尊厳をもって地域で暮らし続けるために不可欠な支援である。本研究により、MCD における診断後支援の実施状況と、それに影響する要因が明らかとなった。今後は、医療機関のみならず地域社会全体で診断後支援を担う体制づくりが求められる。また、センターの社会的使命、理念・ミッションの共有と明確化は、支援体制の充実に資する可能性がある。政策的には、診断後支援の重要性を再確認し、その継続的な実施を制度的に支える仕組みが必要である。

F. 研究発表

1. 論文発表

Edahiro A, Ura C, Sugiyama M, Ito K, Miyamae F, Yabuki T, Okamura T. Current status of post-diagnosis support for the people with dementia among the medical centers for dementia in Japan: Nationwide survey and descriptive analysis based on self-identified missions. (投稿中)

2. 学会発表

1. 枝広あや子、杉山美香、宮前史子、宇良千秋、涌井智子、岡村毅

「診断後支援の現在地：認知症疾患医療センター

全国調査から（１）」

第 67 回日本老年医学会学術集会（2025）

2.岡村毅、杉山美香、宮前史子、宇良千秋、涌井智子、枝広あや子

「診断後支援としてのケアファーム（農福連携）：
認知症疾患医療センター全国調査から（２）」第 67
回日本老年医学会学術集会（2025）

（予定を含む.）

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3.その他

該当なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

表 1. 診断後支援における項目別の実施状況

	認知症疾患医療センター類型			重視する社会的使命		
	基幹型	地域型	連携型	共生以外	共生	p value
介護保険に関する情報提供	92%	84%	76%	63%	91%	<0.001 ***
認知症の特性/治療/症状管理に関する医学情報提供	100%	82%	80%	63%	90%	<0.001 ***
関係機関との連絡調整	75%	74%	71%	57%	79%	<0.001 ***
地域包括支援センターに関する情報提供	83%	69%	64%	56%	64%	0.368
運転免許に関する情報提供	58%	44%	47%	34%	52%	0.022 **
認知症カフェに関する情報提供	42%	43%	56%	32%	62%	<0.001 ***
本人/家族への心理的支援	42%	41%	49%	30%	53%	0.002 **
家族会に関する情報提供	58%	37%	36%	28%	45%	0.017 *
経済的支援に関する情報提供	18%	36%	27%	21%	50%	<0.001 ***
権利擁護に関する情報提供	17%	27%	33%	19%	38%	0.004 **
ピアサポートミーティングに関する情報提供	42%	25%	27%	19%	35%	0.019 *
就労に関する情報提供	33%	14%	13%	11%	19%	0.118

表 2. 診断時の対応状況

	認知症疾患医療センター類型			重視する社会的使命		
	基幹型	地域型	連携型	共生以 外	共生	p value
本人への病名告知	83%	59%	64%	50%	60%	0.182
家族への病名告知	92%	97%	96%	76%	98%	<0.001 ***
本人への予後の告知	58%	24%	31%	19%	36%	0.013 *
家族への予後の告知	58%	52%	51%	40%	60%	0.007 **
本人の想いや不安を受け止める情緒的支援	67%	61%	58%	45%	74%	<0.001 ***
家族の想いや不安を受け止める情緒的支援	58%	64%	62%	46%	79%	<0.001 ***
本人の生活状況の詳細な聴取	83%	84%	84%	65%	91%	<0.001 ***

表 3. 地域との連携状況

	認知症疾患医療センター類型			重視する社会的使命		
	基幹型	地域型	連携型	共生以外	共生	p value
認知症カフェの運営	25%	35%	31%	33%	36%	0.748
地域の認知症カフェへの講師派遣などの協力	33%	60%	38%	52%	60%	0.360
地域の認知症カフェの周知に協力（院内掲示など）	42%	74%	76%	71%	76%	0.610
本人ミーティング（ピアサポート）の運営	25%	26%	22%	22%	33%	0.116
地域の本人ミーティングへの講師派遣などの協力	42%	34%	20%	30%	38%	0.257
地域の本人ミーティングの周知に協力（院内掲示など）	50%	47%	42%	44%	53%	0.222
家族会の運営	0%	24%	29%	21%	31%	0.150
地域の家族会への講師派遣などの協力	50%	51%	42%	48%	53%	0.451
地域の家族会の周知に協力（院内の掲示など）	67%	69%	69%	68%	71%	0.745
自治体等で主催する介護者教育や家族会との連携や協力	58%	81%	71%	74%	88%	0.029 *
地域包括支援センターが主催する地域ケア会議への参加	58%	86%	76%	81%	86%	0.431
地域で開催される事例検討会やネットワーク会議などへの参加	83%	94%	87%	91%	95%	0.573
家族会、本人ミーティング、認知症カフェのいずれかの運営	4%	75%	20%	49%	66%	0.030 *

認知症疾患医療センターにおける	診断後支援の実態調査
-----------------	------------

問 1 貴センターにおける認知症と診断された本人やその家族への診断後支援の実施状況についてお伺いします。

当てはまるものに○をつけてください。

	積極的に実施	求められたら実施	あまり実施していない	実施していない
認知症の特性、治療方法、症状との付き合い方についての情報提供	1	2	3	4
住まいの近くの地域包括支援センターについての情報提供	1	2	3	4
介護保険に関する情報提供	1	2	3	4
権利擁護に関する援助（成年後見制度、虐待・経済被害対策、日常生活自立支援事業）	1	2	3	4
経済問題に関する援助（年金、生活保護、医療費助成など）	1	2	3	4
家族会に関する情報提供	1	2	3	4
本人の会（本人ミーティングなど）に関する情報提供	1	2	3	4
認知症カフェなど地域の居場所や交流の場に関する情報提供	1	2	3	4
関係機関との連絡調整	1	2	3	4
本人・家族の心理的サポート（カウンセリング等）	1	2	3	4
運転免許に関する情報提供	1	2	3	4
就労に関する情報提供	1	2	3	4

問 2 貴センターにおける地域に対するアプローチに関して、当てはまるものに○をつけてください。

	している	開始年 予定中 に	していない

認知症カフェの運営	1	2	3
地域の認知症カフェへの講師派遣などの協力	1	2	3
地域の認知症カフェを周知するための協力（院内の掲示など）	1	2	3
本人ミーティング（ピアサポート）の運営	1	2	3
地域の本人ミーティング（ピアサポート）への講師派遣などの協力	1	2	3
地域の本人ミーティング（ピアサポート）を周知するための協力（院内の掲示など）	1	2	3
家族会の運営	1	2	3
地域の家族会への講師派遣などの協力	1	2	3
地域の家族会を周知するための協力（院内の掲示など）	1	2	3
自治体等で主催する介護者教育や家族会との連携や協力	1	2	3
地域包括支援センターが主催する地域ケア会議への参加	1	2	3
地域で開催される事例検討会やネットワーク会議などへの参加	1	2	3

問 3 貴センターで、診断の際に行っていることについてお伺いします（本人と家族が来院した場合を想定しています）。

	ほとん どし てい る	し て い る こ と が 多 い	し な い こ と が 多 い	ほ と ん ど し て い な い
本人への病名告知	1	2	3	4
家族への病名告知	1	2	3	4
本人への予後の告知	1	2	3	4
家族への予後の告知	1	2	3	4
本人の思いや不安を受けとめる情緒的な支援	1	2	3	4
家族の思いや不安を受けとめる情緒的な支援	1	2	3	4
本人の生活状況の詳細な聴取	1	2	3	4

問 4 貴センターの特徴を教えてください。

①外来業務に関わる医師の所属科について、当てはまる全ての番号に○をつけてください。

1. 脳神経内科	2. 老年内科	3. 精神科	4. 脳神経外科
----------	---------	--------	----------

5. リハビリテーション科	6. その他 ()
---------------	------------

②年間の初診患者数について教えてください。

() 人

③初診患者のおよその診断内訳を教えてください。 *合計で「10」割となるようにご回答ください

	割合
特に精神・神経系の診断はつかない	() 割
MCI	() 割
軽度認知症	() 割
中等度以上の認知症	() 割
その他の精神・神経疾患	() 割

④貴院の認知症疾患医療センター外来における初診枠の人数（1 週間あたり）を教えてください。認知症疾患医療センター外来が一般外来と区別できない場合は、もの忘れ外来（メモリークリニック）の初診枠の人数を教えてください。

1. () 人	2. 人数は決まっていない
----------	---------------

⑤現在の初診予約から実際の受診までの期間を教えてください（初診の待ち期間がない場合は0と回答ください）。

() 週

⑥レカネマブの点滴を実施されていますか

1. 現在している	2. 今年度中に開始を予定している	3. していない
-----------	-------------------	----------

⑦認知症疾患医療センターにはいくつかの重要な社会的使命があります。いずれも重要ですが、貴センターでは以下のどれを最も重視していますか？（一つだけ○）

1. 認知症の予防	2. 認知症の診断	3. 認知症との共生	4. 認知症の研究
5. この中にはない⇒差し支えなければご記入ください ()			

⑧貴センターにおいて診断後支援のための業務を行っている職員の職種を教えてください（複数回答可）。

1. 専門医（日本老年精神医学会若しくは日本認知症学会の定める専門医）		
2. 専門医以外の医師	3. 精神保健福祉士	4. 保健師
5. 心理士	6. 連携推進補助員	7. 社会福祉士
8. 上記以外の職種 ()		
9. 担当するものがない		

問 5 貴センターの圏域で優れた診断後支援の活動、組織、団体などがあればぜひ教えてください。

問 6 医療機関が診断後支援を行うときの課題はなんだと思われますか？

問 7 回答をしてくださっているあなた（貴センターの責任者、または代理の方）についてお伺いします

①性別を教えてください

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

②年齢（10 歳刻み）を教えてください

1. 20 歳代	2. 30 歳代	3. 40 歳代	4. 50 歳代	5. 60 歳代	6. 70 歳代以上
----------	----------	----------	----------	----------	------------

③職種を教えてください

1. 医師	2. 看護師	3. 保健師	4. 社会福祉士	5. それ以外（ ）
-------	--------	--------	----------	-------------------